

【日 時】 令和4年7月23日 10:00～Zoomにて

【出席理事】

高橋則好 高橋英一 三浦由美 鈴木真由美 荒井晋一 佐藤郁子 海藤美紀
阿部淳士 村上郁子 荒井利勝 高橋秀典 大内剛 伊藤喜久子 齋藤晴美
菅原麗子
計 15名

【欠席理事】

佐藤知生 高瀬博行 安藤栄吾 伊藤欣弥 山蔭瞬 青木和弘 鹿野詩子
伊藤雄介 吉田京子 星川知佳子 沼澤弘喜 西田直子 門脇俊宏 菅野康夫
佐々木孝 峯田幸悦 村山紀子

1、開会

2、あいさつ(高橋則好会長)

コロナ感染者数が急激に増え、山形でも過去最多を大幅に超えてきて大変な状態になっている。皆さんは、感染予防に努めてもらい、早く収束し顔を合わせた理事会ができるといいのだが、この状態ではしばらく難しそうだ。幸いにもオンラインで会議ができる状況にあるため、この方法で会議をし、いろいろな意見を出していただきたい。

3、内容

(1)各地区支部報告

山形地区支部(海藤地区支部長)

・昨日7月22日に成澤先生を呼んでの研修会が終了した。参加者は93名。参加申し込みにてpeatixを使用し、地区支部としてのスキルアップにもなった。今後アンケート集計する。

村山地区支部(菅原)

・地区支部役員の改選があり、書面決議の総会で承認された。支部長が菅野理事に変更になったことにより、県協会理事となっていた星川理事が理事を降りたいと申し出ている。今後、地区支部から県協会理事を推薦する必要があるが、まだ決まっていない状態。決まり次第、事務局に報告する。

庄内地区支部(阿部地区支部長)

・6月28日に役員会を開催し、地区支部研修会について話し合いをした。10月にケアマネジャー大会を開催予定。

最上地区支部(高橋英一副会長)

・6月29日役員会と役員のZoom勉強会を開催。研修会は9月に門脇理事を講師とした研修を開催予定。

置賜地区支部(伊藤地区支部長)

・地区支部の総会を書面決議とし、これから発送をする。その際、県協会入会案内文書を同封し会員増の取り組みを行う。研修会は、10月と2月にZoom研修を予定。

(2)各委員会報告

専門職連携(村上委員長)

・7月28日の研修会について荒井理事の協力により、peatixのキャンセル手続きを行った。

中止のお知らせも終了。今後の課題は、コンビニ払いをしてもらった申込者8名への返金についてどうするか。

→住所氏名がわかっているため、郵便為替を購入し謝罪文書とともに郵送する。(村上委員長が対応し、後日事務局に経費請求する)

・9月10日の第2回目の研修会までに、peatixの操作方法などを教えてもらいたい。

→peatixの操作方法については、地区支部でも知っておいた方がいいことなので、県協会理事と地区支部理事で勉強会を行う。理事・地区支部長に開催について知らせる。

8月20日(土)か21日(日)で。人数が増えると事務局では駐車場もなく難しい。4名以上の場合、場所の検討が必要になる。

講師・ファシリテーター養成研修(高橋秀典委員長)

- ・研修内容、講師調整中。

オンライン研修準備委員会

- ・報告事項なし

広報委員会(佐藤郁子委員長)

- ・会報誌37号の発行準備中。9月下旬から10月に発送予定。
- ・ホームページの更新について
→臨時理事会でもこの件の話が出た。前理事の荒木さんが教えてくれることについては承諾を得ているが、大変な作業だとのこと。Facebookに変えたらどうかという話も出ているが。ホームページはきちんと更新できる体制をとっておく必要がある。広報委員中心で数人で話を聞いてほしい。できればパソコンに詳しい方がいいと話していた。後日日程調整をする。

施設ケアマネ委員会

- ・報告事項なし。

主任ケアマネ委員会(阿部委員長)

- ・7月8日にZoomで委員会開催。国際医療福祉大学大学院石山麗子先生をお招きしての研修会を11月～12月に開催できるよう調整中。平日の午後に開催を考えている。

会員サポート委員会(高橋英一副会長)

- ・質問が1件あり、認定調査の判断根拠について回答している。

総務委員会(菅原)

- ・報告事項なし

財務委員会(鈴木委員長)

- ・監事の変更について、村山監事から相談があった。奥山会計事務所に頼んではどうかという話も出ている。昨年度の会計決算がスムーズにいかなかった中で、責任を負えない。と感じたよう。今後、奥山会計事務所とアプリ(オンライン)で繋がり、そこで入力をしていく方法などを考えていると聞いていたので、確認する。決算報告書まで会計事務所で作成していた場合の料金なども確認が必要になる。
- ・現在、県協会の年会費として1万円徴収しているが、県協会の研修が3回企画された場合非会員として3千円を3回払った方が安い。会員は1万円を払ったほかに参加費を払うことになっている。これでは会員増につながらないのではないか。非会員の参加費を値上げするのも一つの手だが、委員会研修なども企画してもらい、県協会全体で年4回以上の研修開催をしてもらいたい。100名程度の規模の研修をしていかなければ、財政は厳しい。
→100人規模の研修会について、今年度は東北ブロック研修のことしか頭になかったと思うが、AI・ICTを用いたケアマネジメントについて研修会をしてはどうか。講師は日本協会に聞いて、調整する。会員サポート委員が機能していないので、会員サポート委員の研修会として開催してもらおう。

(3)佐藤副会長病欠の体制について(高橋英一副会長・鈴木財務委員長)

- ・佐藤副会長が総会後に体調を崩し休んでいる状態。それに伴い、事務局体制が沼澤さん一人になっており、郵送物の発送作業など、山形地区支部・村山地区支部の理事が手伝っている。その部分の労務費について。

今までは、1回の事務作業手伝いにつき千円を会議費として支給してきた。今後、2時間程度で千円としたい。また、山形地区支部の方には、夜間手伝ってもらったり、協会の携帯電話を1週間交代で持ってもらったりしている現状。お金の支給についてもそうだが、今後の事務局の業務分担についても検討しなければならない。

佐藤副会長が復帰ができるのかどうかで対応は変わるが、復帰できない状況であれば、事

事務局職員を確保しなければならない。ハローワークなどに募集を出すなどの対応が必要。
体制的には、毎日一日誰かが事務局にいることが理想だが、財務的には毎日半日の事務員を雇うのがやっとの状態。事務員募集については沼澤さんと検討して動く。

(4) 東北ブロック会議研修会について(高橋英一副会長)

・研修会テーマを理事から募集し、「AI・ICTを用いたケアマネジメント」「LIFEを視野に入れたケアマネジメント(松川講師)」が挙げられた。

→東北ブロック研修会テーマはLIFEを視野に入れたケアマネジメントの松川さんに依頼。

(5) 「LIFE」を活用した取り組み状況の把握および訪問系サービス・居宅介護支援事業所におけるLIFEの活用可能性の検証に関する調査研究へのモデル事業の推薦(2事業所)(高橋英一副会長)

・阿部理事の事業所を推薦。もう1事業所を検討。各支部長に再度メールで送る。

(6)新規入会者承認(高橋英一副会長)

- ・10名の新規入会者あり。10名の入会(1名は会費入金後)を承認する。

(7)ミルモネットについて(高橋英一副会長)

- ・詳細がわからない。沼澤さんなど、話が分かる人が出席の時に再度検討をする。
- ・協力することになった場合、賛助会員になっていただくことを検討してはどうか。

(8)その他

- ・各地区支部長の皆様へ、ケアプラン点検アドバイザーの推薦、ありがとうございました。
- ・8月5日の全国支部長会議について、高橋会長が出席が難しいため、高橋英一副会長が出席する。

4、その他

- ・次回理事会について
9月3日(土)14:00~Zoom

5、閉会